

トピックス…④

認証牧場来場者数、  
平成21年度上期は40%増の66万人

本会は3月17日に東京で、酪農教育ファーム推進委員会を開き、平成21年度の酪農教育ファームの活動内容を報告したほか、平成22年度の事業計画を決めた。活動報告では、平成21年度上期の認証牧場来場者は前年比40%増の66万2,629人に上ったことなどが明らかとなった。

● 酪農体験参加団体数は5倍  
観光型牧場の本格的な酪農体験が増加

本会がまとめた平成21年度上期の認証牧場の受け入れ実態調査結果によると、酪農体験学習の参加団体数は9万8,143団体で前年比5.02倍、参加者数は66万2,629人で40.0%増と大幅に増加した。

参加団体数が急増した理由は、観光型の認証牧場で哺乳体験などの本格的な体験学習が採用されたことで、観光型牧場を訪れた「個人・グループ」の実績が前年に比べて6倍増となったため。

平成21年度上期に酪農出前授業を実施した認証牧場は28牧場で、計178件の出前授業を実施した。このうち、継続的に出前授業を実施しているのは26件となり、その他は1回のみ出前型酪農体験学習となっている。

出前授業の内訳をみると、保育園・幼稚園が65件、小学校が33件となり、これらで全体の55%を占めている。(下表参照)

● ファシリテーターは100人増の507人  
22年度は小学生の調べ学習対応の教材開発

本会は1月から2月に全国3カ所(東京、大阪、北海道)

で、酪農教育ファームファシリテーター(酪農教育ファーム活動をする人)認証研修会を開催した。その結果、平成21年度末のファシリテーターは507人で前年に比べ100人増、認証牧場は291牧場で34牧場増加した。

一方、3月17日の酪農教育ファーム推進委員会では、平成22年度の事業計画も決めた。主な事業計画は、①小学校でのインターネット利用による「調べ学習」に対応した教材の開発、提供②新規モデル事業として酪農体験学習が牛乳の飲用行動に及ぼす影響などの調査研究③教育効果のある酪農体験学習を整理したモデルカリキュラムの開発、提供④酪農体験学習マニュアルの策定⑤教育関係者とファシリテーターのネットワーク活動への支援—などとなっている。

委員会で挨拶した門谷廣茂本会専務は「平成21年度は、酪農教育ファームの認証制度が『牧場』と『人』をそれぞれ認証する新制度になって2年目となり、全国3カ所で開いた研修会には、若い酪農後継者に多く参加してもらった。認証牧場への来場者も例年に比べて多く、大きな成果が上がった。しかし、その一方で、酪農教育ファーム活動が低調な地域もあった」と述べ、平成21年度の酪農教育ファーム活動を総括した。

◎平成21年度上期の認証牧場の酪農体験者数

	団体数(団体)	前年比(%)	体験者数(人)	前年比(%)
幼稚園・保育園	537	120.1	38,162	106.5
小学校	1,308	123.2	72,650	103.3
中学校	795	117.4	44,312	132.1
高等学校	307	131.8	12,401	108.0
大学・専門学校	341	108.3	6,091	98.5
特別支援学校	193	131.3	3,968	145.1
子供会などの団体	1,599	123.9	48,698	84.6
小計	5,080	121.8	226,282	104.0
個人・グループ	93,039	605.6	435,558	170.4
その他	24	—	789	—
合計	98,143	502.4	662,629	140.0